

12

Jun.2022

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2021-22



GOVERNOR

Hirotsada Yoshioka

OFFICE

Kobe Portopia Hotel 722,6-10-1,
Minatojima-Nakamachi, Chuo-ku,
Kobe, Hyogo, 650-0046, Japan



ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ
過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。

本年度の表紙

2021-22年度表紙は、伊丹市の風景や歴史、文化、産業等々を多様な側面から紹介する予定です。伊丹市の持つ魅力や意外性を少しでも感じていただけたら幸いです。

撮影者のプロフィール

中島勝美氏
1951年伊丹市生まれ。
大学卒業後、現在まで植木の販売に携わる。
1992年6月、伊丹ロータリークラブ入会
2010-11年度 伊丹ロータリークラブ会長

ROTARY'S CORE VALUES

The world today is not the same as it was when Rotary was founded in 1905. Demographics have shifted, the pace of change has accelerated, and technology has created new opportunities for connection and service. What hasn't changed is a need for the values that define Rotary:

**FELLOWSHIP, INTEGRITY, DIVERSITY,
SERVICE, LEADERSHIP**

By honoring our past and embracing our future, we can evolve and keep Rotary not only relevant, but thriving.

今月の表紙

旧岡田家住宅

旧岡田家住宅は、延宝2（1674）年、酒造家松屋与兵衛によって建築されました。伊丹の町家としては最も古く、全国的にも数少ない17世紀の町家のひとつです。その後店舗に改装され、酒蔵は正徳5（1715）年頃に増築されました。築年代が確実な現存する酒蔵としては日本最古です。蔵の所有はその後数人の手を経て、明治33年（1900年）に岡田正造へと渡り、昭和59（1984）年に至るまで榎大手柄酒造の北蔵として酒造りが行われていました。富貴長・大手柄が主要銘柄でした。この様に旧岡田家住宅は、江戸時代に栄えた伊丹の酒造りを今に伝える遺構として大変貴重な建物で、すぐ東側の旧石橋家住宅（築江戸時代後期）とともに、日本遺産「『伊丹諸白』と『灘の生一本』～下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷～」の構成文化財にも認定されています。



CONTENTS

月信12号

GOVERNOR'S LETTER.....	1	西播第2グループIM.....	13
地区研修リーダーを終えて.....	3	I.Y.F.R.神戸フリートJAPAN 春の懇親会...	13
2022年規定審議会について.....	4	コーディネーターニュース（5月号）.....	14
クラブ管理運営委員会より.....	6	2680地区	
グローバル補助金（VTT）		「Best Rotary Days of Service」を受賞...	15
カンボジア病理医育成支援プロジェクト.....	8	4月の地区活動記録.....	15
地区補助金（奉仕プロジェクト）報告.....	9	新会員紹介.....	16
阪神第2グループIM.....	12	ご寄付ありがとうございます.....	16
神戸第2グループIM.....	12	訃報.....	17
		会員数報告	

国際ロータリー第2680地区 ロータリークラブ 会長・幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 吉岡博忠 (伊丹)

雨後の新緑が鮮やかな季節 幹事様にはご健勝でご活躍のことと存じます。

小生ガバナー年度最後のガバナーズレターとなりました。本レターを、誠に残念な明石ロータリークラブ会員の不祥事件に対応しながら書いております。皆さまに多大なご心労をおかけしていることとお察しいたします。

【一年を振り返って】

昨年、年度準備のためのPETS、SETSから地区研修・協議会と年度が始まり、ガバナー公式訪問、各種セミナーではその他様々な行事で大変お世話になり、感謝申し上げますとともに、全ての会長・幹事様のリーダーシップにあらためて敬意を表します。

今年度ガバナー行動指針として、For the dynamic Leaders of futures with Rotary「ロータリーとともに活力に満ちたリーダーを育てるために」を標榜させていただきました。

公式訪問におきまして、会長・幹事懇談会で、

- 一. 戦略計画とビジョン
- 二. 定款細則とクラブ自治権
- 三. 危機管理特にハラスメント
- 四. SRF (Shaping Rotary Future) ロータリーの未来形成の概略

について、また卓話では、主に「ロータリーの人材育成」についてお話しいたしました。

各ロータリークラブさんの伝統と誇りが大いに感じることができる公式訪問となりました。

今年度は、ローターアクトクラブ（以下RAC）にも公式訪問させていただきました。これは、

RACがロータリークラブと同じ立場でRIを構成することになり、ロータリーの中核的価値観「親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ」や、2019年RI理事会が決議したDEI「多様性、公平性、包摂性」への理解を共有するためのものであります。まだまだ提唱クラブさんとの連携がいかに大切であるかも把握することができ、2680地区RACの課題も浮き彫りになりました。意義ある公式訪問となりました。

私たちロータリアンの仲間は正に「人材の宝庫」です。地区大会の大きな「親睦」と「学び」の場を、皆さま共々存分に楽しみたいと存じます。その入口であるクラブ例会から、IM、地区大会、国際大会へと続き、世界のロータリアンとつながっています。全てのロータリアンはこの世界の学びの場まで出席できる権利を持っています。この大きな「親睦」と「学び」の場を、これからもこの機会を皆さま共々存分に活かしたいと存じます。

【明石ロータリークラブ会員不祥事について】

ロータリークラブ会員の不祥事件が大きく報道されることにより、今まで培ってきたロータリーの名誉を大きく傷つけたことになりました。明石ロータリークラブの公式行事ではない個人的な場での事件でありますので、情報が錯綜し実体が把握できない状態であります。危機管理委員会及びRIと連携を密に対応していますが、十分な情報提供ができないことをお詫び申し上げます。

月信11号（5月号）【危機管理とハラスメント】で発信させていただきましたように、『ロータリーにハラスメントが存在する余地はありません。ハラスメントがあったら、誰も入会しロータリー活動が続けたいと思わなくなります。「強く温かいロータリー」は「恐れのない組織」から生まれます』

あらためて私たちロータリアンの基本原則を、ロータリー章典から引用いたします。

8.030.職業奉仕の基本原則

8.030.2. ロータリアンの行動規範

ロータリアンが使用するために次の行動規範が採択された。

ロータリアンとして、私は以下のよう
に行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

9.050. クラブの広報

9.050.6. 不利な広報

ロータリークラブは、ロータリーの声
価を損ねり、その効果を制約しかねない
地域社会内もしくはクラブ内の状態

を防止、矯正するため積極的措置を講
じるべきである。ロータリーの目的も
しくは活動への誤解から否定的な世論
が生じた場合、クラブは、正確な一般
向け情報ならびに対地域社会関係の改
善に努めなければならない。

9.050.7. 不利な広報：ガバナーの関与

他のクラブまたはRIに影響を及ぼすよ
うな事態が存在したりあるいは問題が
発生した場合、クラブはできるだけ早
い機会にガバナーに報告し、協力して
その問題に対処すべきである。地域社
会との関係において問題の発生を未然
に防ぎ、解決するためにクラブに助言
および援助を与え、事務総長に助言す
るのはガバナーの責務である。事務総
長は、RI会長とRI理事会に絶えず報告
し、その審議を必要とする問題であれ
ば、これをRI会長とRI理事会に回付し
て、ガバナーとクラブを援助するもの
とする。

小生の最後のガバナーズレターが、このよ
うな形で締めくくることがご容赦願います。

在任中皆さまのご支援とご鞭撻に心から御礼
申し上げます。





地区研修リーダー 矢野 宗司（加古川中央）

地区研修リーダーの任務を終えるにあたり、時系列で活動について触れていきます。

地区研修リーダーとしての最初の任務はガバナー補佐研修でした。吉岡ガバナーエレクトのスタートとともにガバナー補佐が8月中に決まり、それを踏まえてガバナー補佐の研修が始まりました。2002年に地区でDLPが採用され、以前の分区代理がガバナー補佐に変わると共に、その任務も大きく変わり、ガバナーを補佐する立場が重視され、研修が重要視されるようになりました。本年度のガバナー補佐の皆様は多忙な活動をしっかりこなされ、ガバナーをしっかり補佐していただいたことに心より感謝申し上げます。

次に国際協議会でのシェカール・メータRI会長エレクトのテーマと重点項目の発表、並びに吉岡ガバナーエレクトの研修を受けて、ガバナー補佐並びに地区委員会委員長等を対象に地区チーム研修セミナーを開催しました。ここでは吉岡年度の行動指針と地区運営方針を発表すると共に、そのための研修を行いました。

続いて会長エレクト研修セミナー（PETS）において、会長エレクトの研修を行うと共に、その翌週には次期幹事研修セミナー（SETS）を開催しました。次期幹事を対象としたセミナーは当地区としては初めての試みでありました。私自身の経験からも幹事という立場はクラブ運営の要であり、その役割は極めて大切です。単なる会長の秘書的な役割ではありません。そのことへの自覚を踏まえた研修であり、それなりの成果があったのではないかと思います。

地区研修・協議会はCOVID-19の影響で残念

ながら分科会が開催できず、ハイブリッド方式で全体会議のみの開催となりました。基調講演としては、私の同期ガバナーである2750地区の服部陽子パストガバナーに「公共イメージと会員基盤の強化」をテーマにお願いしました。当時、唯一の女性ガバナーとして活躍され、現在も多方面で精力的に活動されている服部氏の講演に刺激を受けたメンバーも多かったと思います。続いて、神戸東RCの会員で地区ポリオプラス小委員会でも活躍されている関本剛会員に特別講話をお願いしました。自ら終末医療に携わる関本会員は末期がんの宣告を受けながらも、医師としての仕事を続けておられました。彼の講演に接した会員は全員が深く感動しました。個人的な話ですが、昨年の10月に親しいメンバーと関本会員を囲んで励ます会を行いました。彼と会えたのはそれが最後で、残念ながら今年の4月に亡くなりました。素晴らしいロータリアンとしていつまでも我々の記憶に残ると思います。

最後に地区大会ではロータリー研修セミナーに2840地区田中久夫パストガバナーに「ロータリーの魅力を伝えよう」と題しての講演をお願いし、会員増強への熱い思いを語っていただきました。

紙面の都合で、これ以外の活動については割愛させていただきますが、吉岡ガバナーより研修セミナーの企画や講師選定を全面的に任せていただき、いかに会員を鼓舞するか、インスピレーションを与えることができるかをともに進めさせていただきました。皆様にとってロータリー活動への羅針盤となったとすれば幸いです。

4月10日(日)～14日(木)◆アメリカ シカゴ

規定審議会代表議員 **滝澤 功治**(神戸須磨)

3年に1度開催されるロータリーの立法機関、規定審議会(COL)がさる4月10日から14日までの5日間、アメリカのシカゴで開催されました。その報告をします。なお、この月信と同時に発行される「ロータリーの友」誌6月号にも同様の報告の小文が掲載されていますが、内容が重複することをお許しください。

1. 今回の規定審議会は、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大を受けて、初めての対面による直接会合とオンライン方式によるバーチャル参加のハイブリッド方式により開催されました。代表議員は各地区1名ですから全世界では534名ですが、全体では7割の代表議員が直接会合に参加しました。これに対し日本では34地区34人のうち、直接会合に参加したのは9名と逆に7割がバーチャル参加でした。

2. 今回審議された制定案の数は94件、審議の結果、採択されたものはそのうち29件で、採択率は30.80%でした。否決されたのが51件で54.2%、撤回は13件で13.8%でした。日本からは最多の26件提案されましたが、そのうち7件が採択されました。

3. 今回のCOLで注目を集め、関心が高かったのは、何と言っても22-71「クラブの管理の試験的プロジェクトの件」でしょう。「ロータリーの未来形成(SRF)」に関する制定案とされ、関心を呼んだのですが、もともとこの制定

案はRI定款などの組織規定に拘束されないクラブ管理のあり方(ガバナンス)を、クラブ数で6,000以下の地域で試験的プロジェクトとして実施するということの承認を求める内容でした。それが審議会の直前の3月22日、修正案が出てきて、対象地域はオーストラリア、ニュージーランドを含むゾーン8とRIBIの二つの地域に限定して実施するというものになりました。

この制定案について、提案者のRI理事会は、対象はゾーン8とRIBIだけでそれ以外の地域に影響を及ぼすことはないし、今後増やすにしても次の2025年COLで審議する、パイロット実施の6年後に会員増強の成果があったかどうかは理事会で検証する、効果がなかったと判断したら元に戻すこともありうる」と説明しました。これに対し、提案に至るまでのプロセスが不明確であるとか、このプログラムを実施しても会員が増加する保障はない、ロータリーが中央集権的な組織になるというような反対意見がありましたが、結局、324対150というダブルスコアで採択されました。



国際ロータリー会長 シェカール・メータ氏のご登壇

4. 今回の審議会でもローターアクトについて議論がありました。RIはことあるごとにローターアクトの地位の格上げを呼びかけていますが、その象徴的存在であったのが、RI理事会の提案した22-63「ローターアクトの代表を規定審議会の投票権のある代表議員として参加させる件」でした。結論から言うと、この制定案は規定審議会の開始前に撤回されました。実はRI理事会は今回の規定審議会の前に、理事会提案の制定案のうち3件を指定して、予め各地で議論するように求めてきました。一つは先ほどの22-71、そしてこの22-63もその一つでした。撤回されたということは事前の各ゾーンでの議論で、反対論が強かったものと推測されます。時期尚早ということでしょうか。

5. 今回、日本からは最多の26件の制定案が提出されましたが、その主要な関心項目は、一つはRI事務総長の任期と報酬などのRIの管理体制をめぐる問題、もう一つはクラブの例会に関する出席報告の問題でした。

事務総長の任期や報酬の上限を決めようという提案については、要するにその権限の集中や強大化を防止しようというものかと思います。全部で3件提案されたのですが、なかなか趣旨を理解していただくのは難しいようで、残念ながらすべて否決されました。

例会の出席報告については、2019年COLで例会を欠席した時のメイクアップ期間を「同一年度内」としたことにより、毎月各クラブがガバナーに出席状況を報告することの意味がなく

なったので、日本から様々な内容の制定案が実に6件も提案されたのですが、審議の結果、単に毎月の例会報告を廃止するという制定案が採択されただけで、それ以外の制定案は残念ながら否決ないし撤回せざるを得ない状況でした。

6. その他の採択された制定案の中で注目されるのは22-10「RI規則にDEIを規定する件」でしょう。会員基盤の拡大に当たり、現在は多様性を尊重することが規定されていますが、その次に「公平性、インクルージョン」という言葉を挿入するもので、420対56の大差で採択されました。

私は22-13「会員がクラブの所在地域に住所又は事業場を有する要件を削除する件」に注目しました。これはeクラブなどでは、住所が無意味になっていることを踏まえた制定案ですが、あっさり採択されました。かつて、会員がクラブの所在地域の外に移転した時に会員身分を終結するのかどうかというような議論がありましたが、今は昔という感じでした。



現地参加の日本人審議会代表議員

クラブ管理運営委員長 矢坂 誠徳(神戸西)

本年度も各クラブの皆様には、クラブ運営アンケートにご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、昨年の「クラブ管理運営セミナー」また先般の「地区研修・協議会」にて配布いたしました、「手に手マニュアル」はご活用されていますか。

また、My ROTARYへのアカウント登録はお済みでしょうか。そこから「ラーニングセンター」を選びますと、様々な情報が得られます。ぜひご参考にして下さい。

さて、本年度も6月を残すのみとなりました、まもなく梅雨の時節に入ります。梅雨の「長雨」は一説には「眺め」と言われています。

長く続く雨に思わず外を眺める、その時には目を大きく開いて見るはずはなく、ぼんやりと周囲を目を細くして眺めるわけであり、細い目で見つめる顔は、細長い目であり「長目」で「眺める」とつながります。

『梅雨は「長目」で「長雨」を「眺め」る時節である』とは、国文学者の大学恩師の言葉であります。

そして、この時期、この時間こそ、私たちが真摯に物事を学び、思考する大切な時ではありませんか。ぼんやりと眺める「ゆとり」の中から「ものの本質」を見いだす意識を向上させましょう。

将来のクラブの在り方を検討するには、現状

のクラブ運営を把握して直面の課題を見いだし本年度の総括を行うことが必要です。継続性を考慮し行動計画を立案して、次年度に進んで下さい。

「より良いクラブへの舵取り」真の親睦・真剣な研修・心ある奉仕などを含めてクラブの運営の基本をみつめ、考える今は「絶好の時節」と思います。

「より良いクラブ運営」の眼目は「手に手マニュアル」の中で詳細に記述しています。再度の熟読を切にお願い致します。

「手に手マニュアル」を持つ温かい手の中には貴方の愛するロータリーが在ることを実感して下さい。

本年度の最終稿となりました。

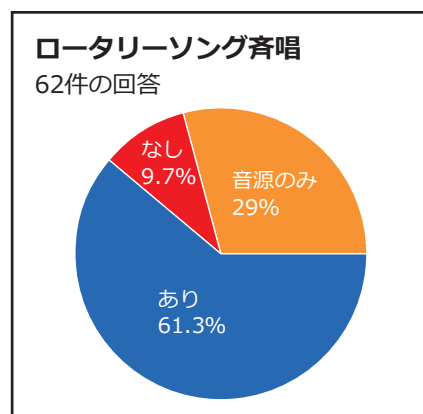
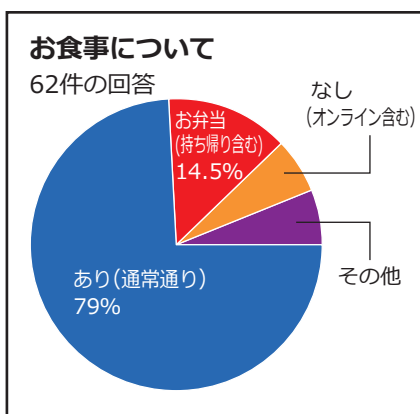
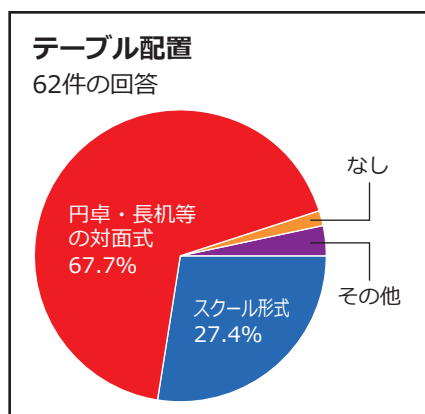
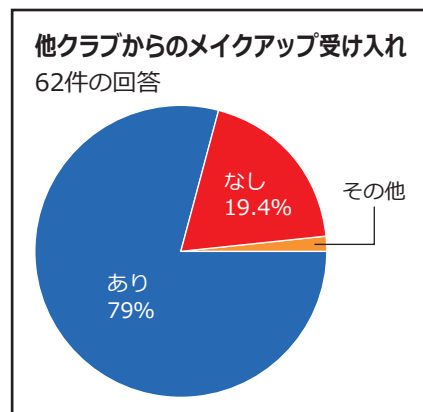
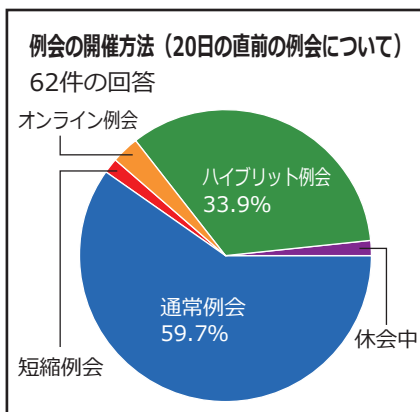
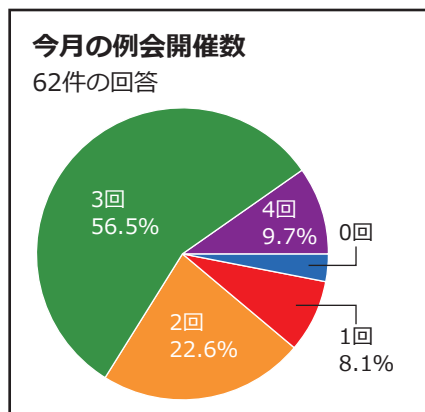
お役にたつ情報提供も出来なく、ただ駄文を弄するのみで、自省致しております。2680地区内の各クラブのご発展とロータリアン各位のご健勝を祈念申し上げまして筆を置きます。

一年間、大変有難うございました。



■クラブの運営報告 2022年4月の回答結果

※2022年5月9日現在



※各グラフの少数枠の%は、割愛致します。

★例会の運営、感染防止対策

例会に関して

- ◆ 検温
- ◆ 手指の消毒
- ◆ マスク着用
- ◆ アクリル板設置
- ◆ 換気の徹底
- ◆ 出入口の開放
- ◆ 食事は黙食 歩き回らない、持ち帰り弁当などで対応
- ◆ 会場は広めにする
- ◆ 開始前の深呼吸体操を中止
- ◆ メイクアップは原則受け入れ無し
- ◆ 4月より月に1回ハイブリッド例会を開催し、残りはオンライン例会の予定
- ◆ 1テーブル4～5人 間隔をあける、テーブル配置はもうしばらくスクール形式
- ◆ まん延防止等重点措置が発令された後は、オンライン例会とする
- ◆ 例会場（ホテル）色々と考えて、例会できるように気を付けてくれています

※HYOGOロータリーEクラブは例会がホームページ上で行われるため対象外といたします。 ※未回答9クラブ

VTT小委員長 中井 章詞(神戸東)

2022年2月に神戸東RCが提唱し、相手国側提唱クラブとしてRI第3350地区プノンペン・メトロRC、当地区内16の協同提唱クラブ及び、協力団体の神戸国際医療交流財団とカンボジア産婦人科学会が参加し、同年3月21日ロータリー財団の承認を得て、神戸東RC（山本裕計国際奉仕委員長）のサポートにて実施されました。

プロジェクト名：GG2233488

「カンボジア病理医育成支援プロジェクト」

重点分野：疾病予防と治療

目的：6名のカンボジア病理医に、①日本での病理診断技術を学ばせ、②カンボジア病理学会創立のリーダーとして、学会運営のノウハウを学習させ、③病理組織特殊染色技術の動画教本を持ち帰り現地の病理医・技師への指導法を伝授する。

ニーズ：子宮頸がん多発国であるカンボジアでは、質の高い病理診断が求められ、また不足する病理医の養成が急務である。今回、日本の病理標本・病理医の姿勢を見る事で病理医の経験値を上げ、指導者育成と環境整備の為の学会設立とその活動支援のニーズが高まっている。

研修対象：26～28歳のカンボジア病理医6名

（男性2名、女性4名）

滞在期間：入国2022年4月7日～出国4月23日

研修期間：2022年4月8日～4月22日(15日間)

研修場所：自主隔離中：対面及びオンライン講義

隔離解除後：日本病理学会総会出席

神戸大学病理部実習

予算：58,859ドル（約6,710,000円）

（奉仕プロジェクト特別会計支援金500,000円を含む）

研修内容

4月8日～13日：滞在ホテルの各部屋に顕微鏡を設置し、近大奈良病院の若狭朋子教授による①細胞診標本診断の研修、②病理レポートの作成を行いました。

4月14日～16日：神戸国際会議場で開催された、第111回日本病理学会に参加、英語の発表やポスターセッションに参加し学会運営を学習。

4月17日：神戸市内健康保養施設他見学

4月18日～22日：神戸大学病理部病院実習

カンボジア国外の病理部を訪れることが初めての体験で、先進機器、他科との定期的カンファレンス、凍結切片による手術中迅速検査診断における病理医の独自性を持った専門的ディスカッション希少症例の病理組織診断学習、免疫組織特殊染色法を修得し、帰国後、動画を用いた他の病理医、病理技師への指導方法の研修を受けた。

その他：4月19日神戸東RC例会出席

4月22日研修成果発表会・修了証書授与式、吉岡ガバナーより各人へ終了証書を授与

まとめ

全研修期間を通して6名の若いカンボジアの病理医は非常に濃密な研修の機会を持ち、自国にはない症例を多数経験し、有数の病理専門医から直に指導・講義の機会を得る事が出来ました。

また、日本病理学会総会では、大会長より壇上から参加者へ紹介される名誉を与えられました。

何よりも彼らに強い印象を与えたのは、日本の病理医の真摯に働く姿であったと言えます。

今回のVTTは、今後、カンボジア国内で彼らの活躍・指導により、良質の医療が広がる礎となる大きな役割を果たしたものと確信いたします。

広報・取材：月刊 神戸っ子6月号

神戸新聞2022年5月2日(月)

面名 神戸14 19P



甲子園ロータリークラブ

西宮サッカー協会 サッカー用具寄贈事業

当初事業計画では、西宮市内の少年サッカーチームに所属する選手、指導者、父兄を対象に、西宮市サッカー協会協力のもと、神戸大学整形外科医を講師として選手の怪我予防対策に関する講演会を開催する予定であった。しかしながら開催予定の3月12日は、COVID-19まん延防止等重点措置期間にあたり、残念ながら中止とした。講演会は中止となったが、COVID-19禍で競技活動を制限されている選手らに、クラブとして今できることをし、活動再開までの励みにしてもらいたいとの思いから、サッカーボール10個、仮設ブース用テント一式を西宮サッカー協会に寄贈した。

本プロジェクトを通して西宮サッカー協会はじめ保護者の方々にもロータリーの地域貢献について認知が広がるものと期待する。

(文責：社会奉仕チームリーダー 森村 次朗)

▶4月6日(水)

▶ホテルヒューイット甲子園

プロジェクト予算総額：165,300円 地区補助金額：82,650円



篠山ロータリークラブ

獣害対策支援による 地域の農業支援事業

丹波篠山市は日本遺産に続き、日本農業遺産にも認定され、丹波篠山市における農業は持続的に発展させていかなければならない基幹産業のひとつです。市内では鳥獣害に悩まされる農家が多く、野生動物による農作物への被害は営農意欲の減退、耕作放棄地の増加等をもたらす深刻な影響をあたえています。そこで獣害対策を先進的に実施されているNPO法人里地里山問題研究所や丹波篠山市を支援しました。電気柵の設置やセンサーカメラの設置・調査、捕獲動物の利活用を学ぶなど高校生・大学生・一般市民が参加しました。また、その活動の発表の場として獣害フォーラムを開催し、またこれからの獣害対策を広く伝えるためパンフレットとPR動画を作成しました。

PR動画URL：<https://youtu.be/w3UONsjkS-4>

(文責：社会奉仕委員長 小林 信通)

- ▶①獣害対策用電気柵設置：2021年7月25日(日)
- ②センサーカメラ設置、シカ・イノシシ調査：2021年11月13日(土)
- ③捕獲・解体現場実習：2021年12月19日(日)
- ④獣がいフォーラム：2022年1月10日(月・祝)
- ▶①圃場 ②圃場周辺 ③食肉加工施設カーリマン・大上公民館 ④丹波篠山市民センター

プロジェクト予算総額：940,000円 地区補助金額：470,000円



宝塚中ロータリークラブ(当時)

親と子のスポーツ百貨店

COVID-19感染症の影響で、応募人数が心配されましたが、定員の240名を上回る294人の応募がありました。

変異株のオミクロン株が全国的に増えてきている中ですが、COVID-19感染症対策を徹底して行い、実施することができました。

科学技術の進歩とともに、生活が便利になり、子どもが体を動かす機会が減っていることが指摘されている昨今、今回の『親と子のスポーツ百貨店』を通して、様々なスポーツに触れるきっかけを作ることができました。

また、親に対しては、専門家による発達の特性に応じた遊び方の指導や、食生活の注意を促すことで、健やかな子どもたちの発育を促すことができました。

(文責：社会奉仕委員長 神尾 友治)

▶1月10日(月・祝)

▶宝塚市立スポーツセンター

プロジェクト予算総額：517,900円 地区補助金額：258,950円



神戸ロータリークラブ

生活困窮による 教育格差解消支援プロジェクト

「貧困の連鎖」を解消することを目的とし、学習機会が不十分な中学生を毎日曜日に集め、個々の事情に即した学習指導を行っているボランティア団体「神戸みらい学習室」への支援を実施した。

- ①生徒の学習用電子辞書(20台)及び参考教材の購入
- ②受験生の模試費用の補助(2回)
- ③本山教室の賃料支援(2ヶ月)
- ④ボランティア講師に支給される交通費と謝金補助(2ヶ月分)
- ⑤教室で供される軽食と飲料の差し入れ
- ⑥「夢ゼミ」として行われる生徒向けミニセミナーへ神戸ローターアクトと協力し講師を派遣(2回)
- ⑦会長視察時に神戸新聞社を帯同し取材、紙面掲載された

▶2021年8月～2022年2月の日曜日

▶神戸みらい学習室(神戸市西区)が運営する

学園都市教室(神戸市西区)及び本山教室(神戸市東灘区)

プロジェクト予算総額：1,250,000円 地区補助金額：500,000円



(文責：社会奉仕委員会 委員長 中島 洋人)

北条ロータリークラブ

市民が集まる施設への、EVの充電施設の寄贈

近年では資源制約や環境問題等により電気自動車への高まりが置かれていることから、同施設を利用される市民、会館の研修室利用者、また送迎のご家族の人らを対象に、平日午前9時から5時まで最大4時間使用できる、EVの充電施設を寄贈しました。

少しでも地球温暖化防止に貢献できればと思います。

(文責：会長 内藤 正風)

▶3月1日(火)

▶加西市健康福祉会館

プロジェクト予算総額：976,280円 地区補助金額：488,140円



姫路南ロータリークラブ

桜山公園植樹

「桜山公園」は、姫路市最大の都市型公園で、市内で最も多くの来園者がある公園です。桜山公園のなかでも一番目立つ大芝生公園駐車場入口を植栽エリアとして姫路市に提供していただきました。

高木のソメイヨシノ3本、低木のアジサイ、フィリフェラオーレア32㎡を2021年11月24日に植樹工事を行いました。

年が明けて大寒2022年1月20日、冬晴れの中、清元秀泰姫路市長・吉岡博忠ガバナーをお迎えし、ロータリークラブ関係者21名にて、とても心地よい天候の中で植樹記念式典を開催いたしました。目録を贈呈し、植樹祭の歛入れを行いました。植樹の根が付き、樹勢が増すのに1年がかかります。来年以降、来園者の目を楽しませてくれることを期待し報告とさせていただきます。

(文責：社会奉仕委員長 藤塚 謙次郎)

▶植樹工事：2021年11月24日(水)

植樹祭：2022年1月20日(木)

▶桜山公園大芝生公園駐車場入口

プロジェクト予算総額：705,000円 地区補助金額：352,500円



阪神第2グループIM

4月16日(土)◆ホテルヒューイット甲子園

阪神第2グループガバナー補佐 **森村 安史**(西宮)

4月16日ホテルヒューイット甲子園にて当グループのIMを開催した。「ニューノーマルの模索～しかるべき未来を切り拓くために～」をテーマとしてフォーラムを開催した。各クラブから今までに実行してこられた「奉仕事業」について語っていただいた。参加6クラブにはそれぞれユニークな事業をしておられることを改めて知る機会となった。

COVID-19感染症の時代にあって、社会活動が停滞しており、ましてや海外との交流事業などは全く動くことができない状態である。昨年

1年間はクラブの例会さえも十分にはできていなかった。そのような中で各クラブはこれまでの活動を振り返り、これからの時代にどのような奉仕活動ができるのかについてもヒントを得ることができたのではないだろうか。

自画自賛ではあるが長沼実行委員長をはじめとしたIM実行委員会のメンバーの活躍には拍手を贈りたい。また、吉岡ガバナーはじめご参加いただいたご来賓の皆様にもこの場をお借りして御礼を申し上げます。

神戸第2グループIM

4月23日(土)◆神戸ポートピアホテル

神戸第2グループガバナー補佐 **矢坂 誠徳**(神戸西)

COVID-19の感染拡大による延期を経て、2年ぶりの神戸第2グループのIMを対面で開催しました。今回はテーマを「明日のリーダーを育むロータリー」と設定し、RLI日本支部ファシリテーター委員長である、RID2770の中村靖治パストガバナーを講師としてお招きしました。「ロータリーを語ろうー変化するロータリー・変化しないロータリー」と題してご講演をいた

だいた後、「RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）を体験しよう」として、各クラブの代表と地区研修委員会・RLI小委員会のメンバーによるRLI方式でのディスカッションをファシリテートしていただきました。グループ内のロータリアンが集い、共に学び、懇親を深める久しぶりの貴重な機会となりました。



5月14日(土)◆上郡町生涯学習支援センター

西播第2グループガバナー補佐 **大岩 敏彦**(上郡佐用)

西播第2グループIMが上郡町生涯学習支援センターで開催されました。

「生涯ロータリアン」をテーマに、吉岡ガバナー、阪上ガバナーエレクト、白井代表幹事のご臨席のもと、西播第2グループ4クラブ(82名)の会員が参集いたしました。

COVID-19の感染が収まらない中、式典と講演会形式のIMとなりましたが、吉岡ガバナー

の「ロータリーには学びが大切」とのお言葉を胸にIMを楽しく学びました。

講演会では、緩和医療の分野でご高名な岡山大学の松岡順二先生に「人生100年時代、よりよい生き方とは!!」をテーマにお話しいただきました。100歳になっても生涯ロータリアンであり続けるためのアドバイスをいただきました。



I.Y.F.R.神戸フリートJAPAN 春の懇親会

4月17日(日)◆淡路市岩屋近辺

2021-23年度I.Y.F.R.神戸フリートJAPAN 幹事 **宮 昭久**(神戸東)

COVID-19対策で安心安全な会を目指し、田中義明コモドア(神戸東)のテーマ「みんなで楽しくやりましょ」のもと、21名のご参加を頂き無事開催することができました。

行程は、三宮⇒淡路ジェノバライン明石港⇒淡路岩屋ポートターミナル⇒絵島⇒タコステ⇒江崎灯台⇒徳島藩松帆台場跡⇒松帆恵比寿神社

⇒松帆の浦⇒明石海峡大橋を眺め「ChizuRu&村上二郎」の淡路島の歌を聴きながらのお弁当ランチパーティーでした。

最高の天候に恵まれ船に乗り、海沿いを歩き、江崎灯台までの厳しい石段を登り本当に楽しい時間を過ごすことができました。





会員増強からモチベーションアップへつなげる

長い時間をかけてようやく新しい会員の入会にこぎつけて安堵したのも束の間、親しかったクラブの仲間が退会するという情報が耳に入ってやりきれない思いに……。こうした事態は達成感のカウンターのようになり、高まっていたテンションを打ち砕いてしまいます。会員数だけでなく、会員の高齢化もクラブのポテンシャルをダウンさせてしまうでしょう。今では、新型コロナウイルスの連波にあわせてクラブ例会がストップしてしまい、ロータリーに対するモチベーションが損なわれて、いつの間にか寒風が吹くようになってしまったというクラブも増えているかもしれません。新型コロナウイルスと共に過ごさざるを得ない昨今、モチベーションの維持こそが緊急課題のように思えてなりません。

会員増強というテーマを数量達成のテクニックとして受け止めるだけではなく、ロータリーに対するモチベーションアップということにつなげて考えていくということに強い関心をもってきました。ロータリーに入会しても、ロータリーの魅力や醍醐味を体感しないまま漫然とロータリーを続けている人（恥ずかしながら、かつての自分の姿です）や、ロータリーを理解するに至らないまま入会して間もなく退会してしまう人がたくさんいるということを聞くと、胸を締め付けられるような気持ちになります。会員増強から在籍の定着、つまり会員維持につなげなければ何の意味もない。さらに言えば、在籍期間だけでなく、ロータリアンとしてロータリーに対する熱い思いを増幅させていかなければ、アクティブなパワーは生まれてこないし、持続可能なロータリーにはならないとも思っています。

ロータリーへのモチベーションや高い目的意識を保ち続けていくには、研修セミナーやミーティングを通して、向上へのスイッチを入れたり学びや情報入手を習慣化するという一連性も必要だと思います。掲げた目標に対して経過や結果を放置せず、きちんと確認して次の段階に活かしていくというスタイルも強く意識しなければならないと思います。

戦略計画には、会員増強と会員維持と会員資質向上をリンクさせた総合性のあるコンテンツが必須だと思いますし、行動計画として具体的に実行していくことが次の会員増強に弾みをつけることになると思います。

●MISSION: POSSIBLE ～私たちにできること

会員増強にしても奉仕活動にしても、最初から否定的に考えてしまうことがあると思います。見かけ上は謙遜や謙譲といった美徳のように受け止められるかもしれませんが、ロータリーにおいてはモチベーションアップになりません。プラス志向による立場や行動こそが、ロータリアンとしてのステップアップになると言い切りたいと思います。

上記の目線で作成したテキストを添付しますので、ご活用いただきたいと思います。

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 関 邦則（長野RC）

世界ポリオデー2022 in Japan

2年余に及ぶ新型コロナウイルスの影響で、ロータリー活動にも大きな変化が生まれました。ソーシャルディスタンスを保ちながら、例会、そして人道奉仕活動を継続していただきありがとうございました。

多くの皆様は、コロナワクチンの3回目のブースター接種を済まされたことと思います。政府は第4回目のワクチン接種も計画していると報じられています。改めて、ウイルスの感染防止に対して、ワクチンの重要性を再認識することになりました。ロータリーは30数年も「ポリオ根絶」に取り組んできました。

日本国内においてポリオはすでに忘れられた存在になっており、ポリオの意識は低いです。日本国内では、2012年9月から不活化ワクチン注射接種が始まりました。現在は、生後3か月から12か月の間に3回、その後追加接種で1回、合計4回の接種が行われています。日本でも毎年ワクチンを接種し続けると海外からポリオウイルスが入ってくることに感染リスクも考えられます。

「ポリオ根絶」はロータリーの最優先事項、ワクチン接種の継続こそが根絶への鍵であります。達成まであと少しです。

コロナを経験して、日本でも再度「ポリオ根絶」に力をいれたいと願っています。残り後2か国ですが、生ワクチンや不活化ワクチンの接種を継続していかなければなりません。ワクチンの代金、それを保存、運搬するクーラーなどに、まだまだ多くの費用が掛かります。皆様ご存知のように、ビル&メリンダ・ゲイツ財団がロータリーの資金に対し、2倍のマッチングを行っているのです。皆様のポリオプラスのご寄付が3倍になるわけです。その支援がある間にぜひ、根絶したいと思います。

国際ロータリーでも、10月24日の「世界ポリオデー」には全世界で認知度を高め、寄付を募るイベントをしています。

今年は、日本各地で、地区単位、クラブ単位での世界ポリオデーイベントを企画、実施してポリオ根絶に挑戦したいと思います。今年は、ポリオ根絶コーディネーター（EPNC）はもとより、ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）の皆さんがこの世界ポリオデーのイベントを地域や日本全国にメディアを使って発信し、ロータリーの認知度やイメージの向上につなげ、そして、会員増強までつなげたいということで、ロータリーコーディネーター（RC）の皆様、さらに、恒久基金 大口寄付アドバイザー（E/MGA）、と協働して、地域リーダー全員で「世界ポリオデー」を盛り上げて行くことができたらいいなと思っています。

第2地域 RRFC 服部 良男（愛知三州RC）

2680地区「Best Rotary Days of Service」を受賞

「Best Rotary Days of Service」をTEAM JAPANとして当地区が受賞いたしました。

昨年9月にロータリー奉仕デー「地球環境保全プロジェクト：海岸清掃」を地区と

して推進した結果です。

ご協力いただいたRC、RAC、IACの皆様にお礼申し上げます。（詳細は今年度月信5号6ページを参照ください）



◆4月の地区活動記録

日 時	行 事 名	場 所
2(土) 15:00~19:00	第8回補助金（+社会奉仕小）合同小委員会	神戸三宮東急REIホテル ボールルームAB/オンライン
14:00~翌12:00	RYLAカウンセラーミーティング（～3日）	神戸ポートピアホテル 菊水
3(日) 10:00~18:00	RLIパートⅢ	神戸三宮東急REIホテル ボールルーム&ローズ
4(月) 14:30~16:00	2022-23年度第2回ロータリー財団委員長会議	神戸ポートピアホテル パール
18:00~19:30	第6回規定審議委員会	オンライン
5(火) 13:00~14:30	第3回ガバナー指名委員会	ガバナー事務所会議室
8(金) 18:00~19:30	第6回公共イメージ委員会	オンライン
10(日) 10:30~12:30	第7回米山記念奨学委員会	神戸ポートピアホテル 生田
13:30~16:30	2022学年度米山奨学生カウンセラーオリエンテーション	神戸ポートピアホテル 和楽
17(日) 10:00~12:00	第9回青少年交換小委員会	神戸ポートピアホテル 菊水
13:00~16:00	2022-23年度青少年交換派遣候補生第5回オリエンテーション	神戸ポートピアホテル 生田
18(月) 16:00~18:00	第4回社会奉仕小委員会	神戸ポートピアホテル パール
22(金) 17:30~19:00	第9回職業奉仕委員会	オンライン
23(土) 14:00~18:00	第9回補助金小委員会	神戸三宮東急REIホテル ボールルームB/オンライン
24(日) 15:00~17:00	第2回危機管理委員会	神戸三宮東急REIホテル ローズ/オンライン
25(月) 16:00~18:00	第3回ポリオプラス小委員会	神戸三宮東急REIホテル ローズ
29(金・祝) 10:30~16:30	2022年地区研修・協議会	神戸ポートピアホテル ポートピアホール 他
30(土) 16:00~18:00	第8回環境の保護小委員会	神戸ポートピアホテル パール

新会員紹介・一緒にロータリーライフを楽しみましょう(敬称略・クラブ順)

芦 屋



高谷 嘉一
福祉
2/9入会

柏 原



猪子 睦男
地方銀行
4/22入会

神 戸 南



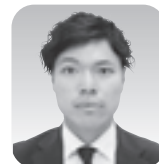
上根 亨
時計販売
4/4入会

神 戸 西



上岡 朋子
化粧品製造・卸
4/1入会

神 戸 西 神



白石 航大
証券業
4/7入会

明 石 東



石川 兼三
司法書士
2/3入会

明 石 東



戸田 清志
土地家屋調査士
4/7入会

高 砂



江村 治
機械製造・配布
4/22入会

龍 野



町 明彦
炭酸飲料瓶詰
4/22入会

龍 野



福井 繁樹
信用金庫
4/7入会

ご寄付ありがとうございます(敬称略・クラブ順)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



足立 義雄
(柏原)



佐々木志朗
(明石東)



桂田 重信
(高砂)



本條 昇
(龍野)



伊藤 充弘
(龍野)



神名 大典
(龍野)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



松本 道彦
(龍野)



室崎 晴之
(龍野)



富田 哲雅
(龍野)



土田 光一
(柏原)



上根 亨
(神戸南)



藤田 正敏
(明石東)

ポール・ハリス・フェロー



森本 幸吉
(高砂)



荻野 正和
(龍野)

ポール・ハリス・フェロー

ご寄付ありがとうございます(敬称略・クラブ順)

米山功労者(8回)



滝内 秀昭
(伊丹)

米山功労者(5回)



中井 洋
(尼崎東)

米山功労者(4回)



西川 一正
(尼崎東)

米山功労者(2回)



灰野 信彦
(明石東)

米山功労者(1回)



三田 恭男
(尼崎東)

ご冥福をお祈り申し上げます



故 関本 剛 氏(神戸東)
4月19日 享年47



故 田中 彰 氏(神戸垂水)
5月9日 享年80

国際ロータリー第2680地区 2022年4月会員数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数												グループ	クラブ名	例会数	会員数											
			7月1日(期首)		4月の入退会		4月末		本年度累計									7月1日(期首)		4月の入退会		4月末		本年度累計					
			総数	うち女性	入会	退会	総数	うち女性	入会	うち女性	退会	うち女性	増減	うち女性				総数	うち女性	入会	退会	総数	うち女性	入会	うち女性	退会	うち女性	増減	うち女性
尼崎	尼崎	4	32	1	0	1	29	1	0	0	3	0	-3	0	東播第一	明石	3	50	1	0	0	55	3	6	2	1	0	5	2
	尼崎北	4	41	0	0	0	41	0	1	0	1	0	0	0		明石東	4	44	2	1	0	46	2	2	0	0	0	2	0
	尼崎東	4	49	1	0	0	53	2	5	1	1	0	4	1		明石北	4	39	0	0	0	40	0	4	0	3	0	1	0
	ニ崎西	4	35	2	0	0	35	2	1	0	1	0	0	0		小計	133	3	1	0	141	5	12	2	4	0	8	2	
	尼崎南	4	30	4	1	0	32	5	2	1	0	0	2	1	高砂	4	36	2	2	0	35	2	3	0	4	0	-1	0	
	尼崎中	4	19	2	0	0	19	2	0	0	0	0	0	0	加古川	4	71	0	0	1	69	0	3	0	5	0	-2	0	
	小計		206	10	1	1	209	12	9	2	6	0	3	2	加古川中央	3	59	0	3	0	60	0	3	0	2	0	1	0	
阪神第一	伊丹	4	43	0	0	0	41	0	0	0	2	0	-2	0	東播第二	高砂青松	3	39	2	0	0	40	2	1	0	0	0	1	0
	川西	4	24	4	0	0	23	4	0	0	1	0	-1	0		加古川平成	3	15	1	0	0	15	1	0	0	0	0	0	0
	伊丹有明	3	11	0	0	0	10	0	0	0	1	0	-1	0		小計	220	5	5	1	219	5	10	0	11	0	-1	0	
	川西猪名川	3	14	3	0	0	15	3	1	0	0	0	1	0		三木	4	48	1	0	0	49	1	1	0	0	0	1	0
	伊丹昆陽池	2	7	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	小野加東	3	47	1	0	0	46	1	2	0	3	0	-1	0	
	西宮イブニング	3	15	5	0	0	15	4	1	0	1	1	0	-1	北条	4	35	2	0	0	34	2	0	0	1	0	-1	0	
	小計		114	12	0	0	111	11	2	0	5	1	-3	-1	西脇	4	44	0	0	0	46	0	3	0	1	0	2	0	
阪神第二	西宮	4	53	0	1	1	53	0	2	0	2	0	0	0	淡路	三木みどり	3	21	1	1	0	24	1	3	0	0	0	3	0
	芦屋	4	39	0	1	1	40	0	3	0	2	0	1	0		小計	195	5	1	0	199	5	9	0	5	0	4	0	
	甲子園	4	41	3	0	0	43	3	2	0	0	0	2	0		洲本	4	31	1	2	0	30	1	2	0	3	0	-1	0
	西宮夙川	3	31	2	0	0	31	2	0	0	0	0	0	0		南淡路	4	31	4	0	0	30	4	0	0	1	0	-1	0
	芦屋川	3	26	3	0	0	27	4	1	1	0	0	1	1	淡路三原	4	15	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	
	西宮恵美寿	4	21	4	0	0	22	4	1	0	0	0	1	0	津名	4	33	0	1	1	35	1	3	1	1	0	2	1	
	小計		211	12	2	2	216	13	9	1	4	0	5	1	あわじ中央	3	22	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	
阪神第三	宝塚	5	40	6	0	0	38	6	2	0	4	0	-2	0	西播第一	小計	132	5	3	1	132	6	5	1	5	0	0	1	
	三田	3	19	0	0	0	18	0	0	0	1	0	-1	0		姫路	4	78	1	2	0	75	0	6	0	9	1	-3	-1
	篠山	3	44	0	0	0	44	0	0	0	0	0	0	0		姫路南	4	74	0	0	1	73	0	1	0	2	0	-1	0
	柏原	4	42	0	1	1	41	0	1	0	2	0	-1	0		姫路西	4	58	1	1	1	57	1	1	0	2	0	-1	0
	宝塚武庫川	3	34	2	0	0	33	2	0	0	1	0	-1	0	姫路东	4	61	4	0	0	61	4	4	0	4	0	0	0	
	三田南	2	8	0	0	0	7	0	0	0	1	0	-1	0	神崎	3	27	0	0	0	28	0	1	0	0	0	1	0	
	HYOGO REC	4	19	3	0	0	18	2	0	0	1	1	-1	-1	姫路中央	2	4	0	0	0	5	1	1	1	0	0	1	1	
小計		206	11	1	1	199	10	3	0	10	1	-7	-1	小計	302	6	3	2	299	6	14	1	17	1	-3	0			
神戸第一	神戸	4	150	1	0	4	153	2	14	1	11	0	3	1	西播第二	赤穂	4	33	0	0	0	32	0	2	0	3	0	-1	0
	神戸東	3	111	1	0	1	107	1	2	0	6	0	-4	0		相生	4	29	2	0	1	30	2	3	0	2	0	1	0
	神戸東灘	4	31	6	0	0	32	6	1	0	0	0	1	0		龍野	3	40	5	1	0	37	4	1	0	4	1	-3	-1
	神戸南	4	86	0	1	0	88	0	2	0	0	0	2	0		上郡佐用	4	26	7	0	0	26	7	0	0	0	0	0	0
	神戸六甲	4	15	1	0	0	15	1	0	0	0	0	0	0	小計	128	14	1	1	125	13	6	0	9	1	-3	-1		
	神戸ベイ	4	14	1	0	0	13	1	0	0	1	0	-1	0	豊岡	4	36	0	2	0	35	0	2	0	3	0	-1	0	
	小計		407	10	1	5	408	11	19	1	18	0	1	1	生野	4	22	0	0	0	22	0	1	0	1	0	0	0	
神戸第二	神戸西	4	57	8	1	0	58	9	2	1	1	0	1	1	但馬	香住	4	12	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	神戸須磨	4	32	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0		豊岡円山川	4	29	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0
	神戸垂水	4	24	6	0	1	24	6	1	0	1	0	0	0		和田山	4	23	2	0	0	22	1	2	0	3	1	-1	-1
	神戸西神	4	35	2	1	0	34	2	1	0	2	0	-1	0		小計	122	2	2	0	120	1	5	0	7	1	-2	-1	
	神戸中	4	33	4	0	0	29	4	0	0	4	0	-4	0	合計	70RC	2,583	119	23	15	2,580	123	107	9	110	5	-3	4	
	神戸モーニング	3	26	4	0	0	25	4	0	0	1	0	-1	0															
	小計		207	24	2	1	202	25	4	1	9	0	-5	1	※4月1日より宝塚RC・宝塚中RC合併のため、合算した数を記載しております。														

※4月1日より宝塚RC・宝塚中RC合併のため、合算した数を記載しております。

- ◆クラブ数..... 70RC
- ◆2021年7月1日 クラブ会員数.....2,583人
- ◆2022年4月末 クラブ会員数.....2,580人

- ◆2022年4月末 女性会員数..... 123人
- ◆期首からの増減..... 3人減
- ◆期首からの女性増減..... 4人増